

平成30年度
自己評価報告書
(評価編)

評価対象期間 自：平成30年4月1日
至：平成31年3月31日

評価基準日 令和元年5月1日

令和元年7月

学校法人高橋学園
専門学校東京CPA会計学院熊本校

目次

教育重点項目(1) 「東京CPA会計学院の更なる発展」の確実な実施

教育重点項目(2) 教育力の向上

第1 教育理念・目的・育成人材像等

第2 学校運営

第3 教育活動

第4 学修成果

第5 学生支援

第6 教育環境

第7 学生の受入れ募集

第8 財務

第9 法令等の遵守

第10 社会貢献・地域貢献

第11 国際交流

教育重点項目1

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点1	「東京CPA会計学院熊本校のさらなる発展」の確実な実施	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

教育重点項目2

		評価項目				
		適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
重点2	教育力の向上	4	③	2	1	0

①課題

重点2：国家試験や検定試験の合格だけが当校の教育の目的ではないにしても、中には合格率が想定以下になる場合がある。

②今後の改善方法

重点2：これからも教育内容や手法の見直しを怠らず、高い合格実績を出せるように工夫して、教職員の意識を改革していく。

③特記事項

第1 教育理念・目的・育成人材像等

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
01	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④	3	2	1	0
02	学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1	0
03	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1	0
04	学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1	0
05	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

第2 学校運営

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
06	目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1	0
07	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1	0
08	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか	④	3	2	1	0
09	人事、給与に関する規定等は整備されているか	④	3	2	1	0
10	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1	0
11	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	③	2	1	0
12	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1	0
13	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1	0

①課題

11：業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制について特に組織や委員会などを設けていない。

②今後の改善方法

11：組織や委員会の設置を検討していく。

③特記事項

第3 教育活動

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
14	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1	0
15	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1	0
16	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1	0
17	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	③	2	1	0
18	関連分野の企業・関係施設等や業界団体との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行なわれているか	4	③	2	1	0
19	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	③	2	1	0
20	授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1	0
21	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	②	1	0
22	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	0
23	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1	0
24	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1	0
25	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行なわれているか	④	3	2	1	0
26	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行なわれているか	4	③	2	1	0
27	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	③	2	1	0

①課題

17：難関な国家資格や資格検定を目指すことによって、必然的にキャリア教育・実戦的な職業教育の視点に立っていると考えているが、資格試験や検定試験では測れない内容について研究が不足している。

18：同上

19：現時点ではインターンシップや実習の必要性はないが、近年、会計分野の業界の環境変化も大きいので、その必要性について研究が不足している。

21：これまで外部評価者からの評価をうける慣行がなく、とりたてて卒業生の評価にネガティブなものはないということで、評価の必要性を感じていないが、改めて外部の方より評価してもらうことは重要であるという意見が上がっている。

26：関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修は、自己研修となっており、明確に研修会という形で実施されていない。

27：一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会の主催する各種研修会等を利用して、利用する人数や頻度が年毎にまちまちである。

②今後の改善方法

17：実務経験者の意見を踏まえながら、より実践的な視点での教育の要素を探求し、カリキュラムの見直しを図っていく。

18：同上

19：就職先企業や、監査法人・税理士法人などとの意見交換を増やし、業界の環境変化について適時に把握して、必要な教育内容の整備を検討していく。

21：本校の教育方針について評価できる知見を有する外部評価人を探していく。

26：各教員の専門分野は際立っているとはいえ、指導方法など共通のスキルもあり、先端的な知識・技能等の認識からズレることもありうる。そのため、研修会の実施の必要性を検討していく。

27：各教職員の一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会の主催する各種研修会の利用状況を集計して、必要な研修会にはできるかぎり参加するように指導する。

③特記事項

第4 学修成果

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
28	就職率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
29	資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1	0
30	退学率の低減が図られているか	④	3	2	1	0
31	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④	3	2	1	0
32	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	③	2	1	0

①課題

32 卒業生からのヒアリングが網羅的とは言えない。

②今後の改善方法

32 卒業後一定年数を経過した卒業生を対象としたアンケートを実施することを検討している。

③特記事項

第5 学生支援

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
33	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
34	学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1	0
35	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
36	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	③	2	1	0
37	課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1	0
38	学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1	0
39	保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1	0
40	卒業生への支援体制はあるか	4	③	2	1	0
41	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1	0
42	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行なわれているか	4	③	2	1	0
43	関連分野における業界との連携による卒後の再教育プログラム等が行われているか	4	3	2	1	①

①課題

- 36 学生の健康管理を担う特別の組織体制は設けられていない。
- 40 卒業生への支援サービスの認知度が低い。
- 42 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育について、正式な形での連携ができていない。

②今後の改善方法

- 36 学生の健康管理に起因する問題について分析し、学生の健康管理を担う特別の組織体制の可否を検討していく。
- 40 Webサイト中で卒業生の情報を扱う「校友会」欄の情報を更に充実させた上で、毎年卒業式に校友会の案内をすることを検討している

42 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育のニーズについて、その有無や内容、提携実現の可能性等について商業系の高等学校を中心として引き続き模索していく。

③特記事項

第6 教育環境

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
44	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1	0
45	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1	①
46	防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1	0

①課題

②今後の改善方法

③特記事項

第7 学生の受入れ募集

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
47	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか	④	3	2	1	0
48	学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1	0
49	学生募集活動において、資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか	④	3	2	1	0
50	学生納付金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1	0

- ①課題
- ②今後の改善方法
- ③特記事項

第8 財務

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
51	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2	1	0
52	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	③	2	1	0
53	財務について会計監査が適正におこなわれているか	3	③	2	1	0
54	財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1	0

①課題

51：学生募集の状況は改善したものの、安定した状況とは言い切れない。資金的には中長期的にひっ迫しているわけではないため、喫緊の課題という認識ではない。

②今後の改善方法

51：引き続き、学生募集の広報努力に注力しつつ、安定した財務基盤の獲得を図っていく。

③特記事項

第9 法令等の遵守

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
55	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④	3	2	1	0
56	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1	0
57	自己評価の実施と問題点の改善を行なっているか	4	③	2	1	0
58	自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1	0

①課題

56：ネットワークの不正アクセスに関しては、不正の手法が日々刻々と変わっていくが、臨機応変に対応することについて、継続的な課題と認識している。

②今後の改善方法

56：専門業者からの情報等を入手し、費用対効果を検討しつつ、必要な対策を随時導入していく。

③特記事項

第10 社会貢献・地域貢献

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
		④	3	2	1	0
59	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1	0
60	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1	0
61	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	③	2	1	0

①課題

61 本校主催の地域に対する公開講座等を行っていない。

②今後の改善方法

61 地域の方のニーズを調べ、本校主催の講習会の実施を検討する。

③特記事項

第 1 1 国際交流

	評価項目	適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1、無該当:0				
62	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	③	2	1	0
63	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	③	2	1	0
64	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整理されているか	4	③	2	1	0
65	学習成果が国内外で評価される取組を行なっているか	4	3	2	1	①

①課題

②今後の改善方法

③特記事項